

## 2017年5月期 第3四半期 決算概要

- エキスパートサービス（人材派遣）、BPO事業（インソーシング、アウトソーシング）を中心に多くのセグメントで増収となり、売上高は205,480百万円（前年同期比+5.7%）増収影響により売上総利益も40,530百万円（+5.3%）と増益
- 販管費において退職給付費用が前年同期比で大幅に増加したことにより営業利益1,877百万円（△6.2%）、経常利益1,798百万円（△7.0%）となったが減益幅は縮小傾向
- 当四半期で一部の固定資産の利用状況を踏まえ、減損損失を計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純損失は△914百万円

### 1. 第3四半期連結業績（2016年6月1日～2017年2月28日）

（百万円）

	2016年5月期3Q	2017年5月期3Q	増減	増減率
売上高	194,430	205,480	+11,049	+5.7%
売上総利益 (売上比)	38,477 19.8%	40,530 19.7%	+2,053 △0.1pt	+5.3%
販売費及び一般管理費 (売上比)	36,474 18.8%	38,652 18.8%	+2,177 +0.0pt	+6.0%
営業利益 (売上比)	2,002 1.0%	1,877 0.9%	△124 △0.1pt	△6.2%
経常利益 (売上比)	1,933 1.0%	1,798 0.9%	△134 △0.1pt	△7.0%
親会社株主に帰属する四半期純損失 (売上比)	△453 -	△914 -	△461 -	-

### 2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業損益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	105,767	+7,496	+7.6%	833	△252	△23.3%
インソーシング（委託・請負）	55,421	+1,425	+2.6%			
HRコンサルティング、教育・研修、その他	4,584	△38	△0.8%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	4,577	+121	+2.7%	1,093	△1,015	△48.1%
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	10,785	△1,347	△11.1%			
アウトソーシング	21,953	+3,281	+17.6%	4,141	+1,277	44.6%
ライフソリューション、パブリックソリューション	4,663	+550	+13.4%	△211	+261	-
消去又は全社	△2,272	△439	-	△3,979	△395	-
合計	205,480	+11,049	+5.7%	1,877	△124	△6.2%

#### 主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	働き方改革の施策の一つとして派遣活用が広がり、幅広い業界で受注増加。(株)パソナ OGXA <sup>*1</sup> も売上に貢献。外国語事務、経理、貿易など専門事務と営業職が伸長。
インソーシング	人事系BPOが増加した他、健康管理室の運営等、新しいサービスの受託増加。自由化に伴いエネルギー産業からコンタクトセンターの需要高まる。自治体のワンストップ窓口の導入が進み、行政事務代行も拡大。前年同期に決算期変更があったものの増収。
グローバルソーシング	前期に子会社化したインドネシアのDGS <sup>*2</sup> で日系クライアントが増加し人材派遣の増収に寄与。ASEANで教育・研修の引き合い高まり9月から営業を開始したCaplanTailand(キャプラン タイ)も順調。
キャリアソリューション	人材紹介は高水準で推移し、管理部門や女性管理職候補を中心に成約が増加。「顧問ネットワーク」等、新サービスも成長。再就職支援は厳しい環境。
アウトソーシング	福利厚生事業は導入企業数が順調に拡大。報奨金等をポイント化して管理・運営するインセンティブ事業も堅調。ヘルスケア事業の健診サービスや特定保健指導、ストレスチェックの受注が増加。

<sup>\*1</sup> (株)パソナが子会社化した大阪ガスエクセレントエージェンシー(株) <sup>\*2</sup> PT. Dutagriya Sarana (デュータグリヤ サラナ)

### 3. 財政の状況

(百万円)

	2017年5月期 3Q末	前期末比		増減要因
		増減	増減率	
流動資産	59,121	2,934	+5.2%	現金及び預金の増加 1,332 百万円、 受取手形及び売掛金の増加 893 百万円等
固定資産	28,567	△601	△2.1%	
資産合計	87,689	2,332	+2.7%	
流動負債	45,682	487	+1.1%	短期借入金の増加 4,294 百万円、 長期借入金の増加 2,153 百万円、 買掛金の減少 1,986 百万円、 賞与引当金の減少 1,001 百万円、 未払法人税等の減少 845 百万円等
固定負債	15,587	2,161	+16.1%	
負債合計	61,270	2,648	+4.5%	
純資産合計	26,419	△316	△1.2%	親会社株主に帰属する四半期純損失 914 百万円、 非支配株主持分の増加 569 百万円、配当金の支払 447 百万円、退職給付に係る調整累計額の増加 324 百万円、その他有価証券評価差額金の増加 137 百万円等
自己資本比率	20.6%	△1.6pt		

### 4. 2017年5月期（2016年6月1日～2017年5月31日）連結業績予想

2017年5月期の通期連結業績予想については、売上高は概ね計画通りに推移しています。利益面では再就職支援の事業環境など不透明な要素も残っていますが、足元の人材需要を鑑み2016年7月15日に公表した通期予想を据え置き、収益確保に努めてまいります。

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
2017年5月期 業績予想	283,000	4,300	4,200	500	13円59銭
2016年5月期 実績	263,728	3,860	3,855	243	6円62銭
前期比増減率	+7.3%	+11.4%	+8.9%	+105.1%	-

四半期ごとの連結業績およびセグメント別業績データは <http://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。